

TONICHI のデザイン新聞「つつむ」 英字新聞風に企業紹介できる新シリーズ販売開始 ～資材不足・価格高騰の中、安価で大量印刷可能～

東日印刷株式会社（本社：東京都江東区、社長：西川光昭、以下 TONICHI）は、新聞の手触りや風合いを楽しめるデザイン新聞「つつむ」の新シリーズとして、自社を紹介する英字新聞風の包装紙「Tonichi Daily」の販売を開始しました。

包装紙や梱包材を企業 PR にも活かす試み。社屋やオフィス、自社商品などのビジュアルを織り交ぜながら、貴社の歴史や理念、商品展開などを英字新聞として印刷します。もちろん日本語での新聞風レイアウトも可能。年間 90 紙以上の各種新聞印刷を手掛ける当社ならではの、のデザイン力でご要望にお応えします。



包装紙を当社の「つつむ」＝輪転機による新聞印刷＝に切り替える企業様が増えていきます。背景にあるのは、中東情勢の緊迫化に伴うナフサ不足です。

紙やインクの価格が高騰する中、新聞用紙を使う「つつむ」はインク使用量も商業印刷の約半分。包装紙だけでなく、石油由来のクッション材など、さまざまな用途で代替可能です。

しかも低価格で、短納期・大量納品にも対応。世界最大級の新聞印刷会社ならではの、1日100万枚単位の印刷が可能だけでなく、当日入稿・印刷・納品にも対応しています。お問い合わせはこちら <https://www.tonichi-printing.co.jp/inquiry/for-printing>

お買い求めはこちらから



～「Tonichi Daily」誕生まで～

TONICHI は、1 拠点に 10 セットの輪転機を備え、1 日最大 230 万部を印刷しており、単一工場として世界最大級の新聞印刷会社です。74 年間、新聞印刷を担ってきた当社が新聞愛を込めてお送りするデザイン新聞「つつむ」は、新聞の手触りや柔らかさを感じてもらい、新聞に親しみを持ってもらいたいとの思いから生まれました。

「つつむ」シリーズでは、これまでも英字新聞風の包装紙を販売していましたが、内容に特段の意味はありませんでした。しかし今回印刷したのは、TONICHI の歴史や事業などを紹介する“本物”の記事。これを外国人社員が英訳し、輪転機や社屋、オフィス、各種自社製品など、TONICHI に関わる素材をデザインすることで、単なる包装紙を超えた「伝える包装紙」にできました。御社でもいかがでしょうか？



TONICHI

東日印刷は、今年で創業 74 年。毎日新聞グループの中核新聞印刷会社で、輪転機 10 セットを備える本社工場は世界最大級。傘下の関連会社を含め関東・福島に 6 工場 23 セットを保有し、日刊紙や各種専門紙など約 90 紙を制作・印刷している。近年はファブリックサイネージの印刷やデジタル事業（名刺管理ソフト）などの新規事業を積極的に展開。経営理念は「顧客に信頼される会社でありたい 社員の誇りとなる会社でありたい 地域で親しまれる会社でありたい」。会社方針は「最高の品質と最高のサービス」。

〈本件に関するお問合せ〉

東日印刷株式会社 プロモーション本部

<https://tonichi-printing.co.jp/inquiry.html>

※「東日印刷 お問い合わせ」で検索ください